

合同会社ピットリー 様

Fujitsu Tech Talkでの出会いから生まれた、AIを活用した新たな共創プロジェクト「ピットリー」

商品名 FUJITSU Cloud Service for OSS、Zinraiディープラーニング

富士通のAI「Zinrai」を活用した画像販売サービス「ピットリー」は、富士通が運営する開発者向けのコミュニティ「Fujitsu Tech Talk」でのコラボレーションがきっかけとなり誕生した。プロジェクトメンバーである三人に、ピットリーを共創するに至った経緯を聞いた。

Zinraiディープラーニングを活用した新しい画像販売サービス

AIを活用した、コミュニケーション型の画像販売サービス「ピットリー」。その最大の特長は、感情や雰囲気画像を検索できることだ。ピットリー業務執行役員 Art Directorの安部 英人氏は次のように話す。

「目的の画像を素早く見つけるだけでなく、感情や雰囲気から広告など制作物のコンセプトに沿った画像を探すことができれば、制作物の魅力をより引き立てられます」

通常、画像を検索するためには1枚ごとに検索キーワードにヒットするタグを付けておく必要がある。「大量画像のタグ付けは手間も人件コストも大きくなります。ピットリーはタグ付け作業をAIにより自動化することで人件コストを大幅に削減し、低価格でのサービス提供を実現します。高品質な画像を安価に提供することでサービスが広がれば、写真の販売主となるカメラマンさんの収入を増やすことにも繋がります」とピットリー 代表取締役 System Producerの林 研志氏は言う。

画像への自動タグ付けは、富士通がクラウドサービスとして提供しているZinraiディープラーニングで構築したピットリー独自の画像解析エンジンを使用。時間の短縮だけでなく、品質の一貫したタグ付けが可能となっている。

例えば、「感情」のタグは、色から感じる印象を感情と結び付け、人の表情から得られる感情を解析して設定する。これらをベースに「多くの画像を教師データとしてAIに学習させることで、風景画像に関して狙い通りのタグ付けが自動的に行えるようになりました。ローンチに向けてさらに精度を上げていきます」と話すのは、ピットリー 業務執行役員 AI Business Designerの三井 篤氏。今後は風景以外のシーンやタグカテゴリーを増やしていくという。



株式会社フォレストバーウッド
代表取締役
合同会社ピットリー
代表執行役員
System Producer
林 研志 氏

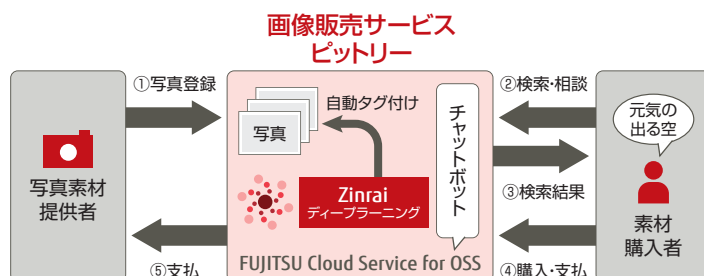


株式会社アベデザイン
代表取締役
合同会社ピットリー
業務執行役員
Art Director
安部 英人 氏



株式会社Sigfoss
執行役員 COO
合同会社ピットリー
業務執行役員
AI Business Designer
三井 篤 氏

■コミュニケーション型画像販売サービス「ピットリー」の全体像



将来的には、チャットボットを搭載してキャラクターと会話することでコミュニケーションを取りながら目的の画像を探せる仕組みも取り入れる。「チャットボットとの会話により、ストレスなく柔軟に画像を探せるようになります。このチャットボットにもZinraiの利用を検討しています」と三井氏は言う。

2019年秋のローンチ時には、ピットリーが所有する画像の販売からスタートし、最終的には外部の画像提供者もアップロード販売を行えるプラットフォームになる。安部氏は、「売れ行きランキングを導入して、上位販売価格の還元率アップといった施策なども行い、提供者のモチベーションを高めていきます」と話す。

安価にシステム構築が可能な富士通のクラウドサービス

ピットリーでは、フロント側のWebシステムにも富士通のクラウドサービスを利用する。信頼性・セキュリティ面での安心感を担保した上で、本プロジェクトのような大量かつ大容量の画像を扱うシステムで

お客様プロフィール

合同会社ピットリー

所在地 東京都小平市学園東町3-2-3

代表者 林 研志

設立 2018年(平成29年)11月

ホームページ <http://pittry.com/>

事業内容 コミュニケーション型画像販売サービス「ピットリー」の運営。画像、動画の販売、カメラマンの手配、紹介イベントの企画及び実施・運営

見逃せないのがデータ転送にかかる課金だが、「FUJITSU Cloud Service for OSS」(以下、FJCS for OSS)は転送料無料としているところが強みの1つである。

「アップロードだけでなくダウンロードも無料なのは画期的です。大量のデータをダウンロードして課金が高くとデータが人質に取られたような気分になるのです」と三井氏は語る。

Fujitsu Tech Talkで初めて出会った三人が、新たなビジネスプロジェクトをスタート

このピットリープロジェクトのメンバーである林氏、安部氏、三井氏の三人はそもそもまったく異なる企業に籍を置いている。三人が出会い、ともにピットリーのプロジェクトをスタートしたきっかけ、それがFujitsu Tech Talkだ。

Fujitsu Tech Talkは、クラウド/AIをベースとしたシステムやサービスを開発・提供するインテグレータと富士通の技術者とのコミュニティだ。参加者同士、そして富士通の技術者とのコミュニケーションを通じ、新たな共創を実現する場を提供している。

林氏と安部氏が最初に出会ったのは、Fujitsu Tech Talkが2017年10月に開催したイベントだった。「私も安部さんも写真やイラストを売るためにはどうすれば良いかを考えていたところでした。イベントでは、Zinraiの画像認識APIで物体やシーンなどを認識する事例が紹介されていて、「AIを使えば人件コストが下げられるのではないか」と二人で盛り上がりました」と林氏は振り返る。

二人は意気投合し、FJCS for OSSとZinraiを活用した画像販売サービスを立ち上げることを決定。写真(picture)や動画、イラスト(illustration)を文字(text)や言葉と結び付けることに挑戦(try)する、という思いを込めてプロジェクト名を「ピットリー(Pittry)」と決めた。しかし、二人ともAIをビジネスに活用した経験がなく、仕組み作りをどうするかが課題となった。

安部氏は、「林氏はシステム開発、私はデザインですので、AIを活用したサービスを構築するノウハウがありません。そこで、AIインテグレータであるSigfossの三井さんをFujitsu Tech Talkで紹介してもらいました」と語る。

三井氏は出会いを振り返り、「二人にお会いして話をすると、それぞれ得意分野やキャラクターがまったく違っていて、学ぶことや新たな気付きがたくさんあり面白いと感じました」と語る。構想として立ち上がった本企画を外部ベンダーなどへ発注・丸投げするのではなく、ピットリーを三人で会社として立ち上げることに決め、プロジェクトは正式にスタートした。



サービスキャラクター
「ピットリー君」

コラボレーションによる新たなビジネスを創出する「Fujitsu Tech Talk」

富士通 グローバルマーケティング本部 ポートフォリオ戦略統括部 エコシステム推進部の澁谷 高広は、「Fujitsu Tech Talkは2017年5月に発足し、以来3年で190社450名以上の方にご参加いただいています。主な活動はリアルイベントやデジタルでの情報提供、参加企業の

マッチングなどで、中でもリアルイベントを通じた参加メンバーとのコミュニケーションを重要視しています」と話す。

安部氏は参加の理由を、「当社は開発会社専門のデザイン会社で、常に新たなビジネスコラボレーションを求めています。Fujitsu Tech Talkでは多様な業界の方と知り合うことができ、ビジネスコラボレーションのチャンスがあるコミュニティだと思いました」と語る。

Fujitsu Tech Talkのメリットは、このようなビジネスコラボレーションの機会を得られるだけではない。参加メンバーに対して無償の技術教育や無償枠*付のトライアル環境などの手厚い支援プログラムも提供されている。



富士通株式会社
グローバルマーケティング本部
ポートフォリオ戦略統括部
エコシステム推進部
澁谷 高広

■Fujitsu Tech Talk 参加メリット

クラウド/AI関連		
最新のサービス情報/活用事例	無償の技術教育	無償枠*付きトライアル環境
リアルイベント/デジタルコンテンツを通じたコラボレーションの機会		プロモーション支援メディア露出

※: FJCS for OSS 6ヶ月間/月額10万円まで無償
Zinrai API 最大3ヶ月無償

林氏は、「参加者向けの支援プログラムを活用できるおかげで、事業化までのスピードが加速しますし、収益化までの運用コストも最小限に抑えることができます」と富士通による支援のメリットを説明する。

ピットリーは2019年5月、「富士通フォーラム2019」にブースを出展し、画像販売サービスのデモンストレーションを行った。ブースで説明を行った林氏は、「非常に多くの方に来場いただき、手応えを感じることができました」と話す。また、富士通 理事/首席エバンジェリスト中山五輪男が進行役を務めるフロントラインセッションに三井氏がゲストとして登壇し、ピットリー共創の経緯を交えながらAIソリューションビジネスの必要性について語った。

こうしたイベントへの出展も共創ビジネスに対する富士通によるプロモーション支援の一環である。

開発したエンジンをさらなる新しい領域にも展開

林氏は、「当初は写真だけが対象ですが、今後はイラストや動画などにも活用できるエンジンになります。ゆくゆくはピットリーエンジンを他の企業に専用のエンジンとしてライセンス販売できればと考えています」と話す。三井氏も、「マーケティング分野での活用など、いろいろと面白い展開ができそうです」と付け加える。

澁谷は「Fujitsu Tech Talk参加メンバーから新たなビジネスアイデアが次々と生まれ、形になっていくのを見るのは、運営者としてのモチベーションも高まります。これから情報・技術・プロモーションと様々な面からビジネス創出を強力に支援していきます」と意気込みを語った。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

受付時間 9:00 ~ 17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<https://www.fujitsu.com/jp/zinrai/>